



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)9月25日号 No.2002

## 目次

■ 2025年ロシア統一地方選挙一次期連邦下院選の試金石一	1
■ 統計速報	8
2025年1～6月のロシアの主要経済指標／8	
■ エトセトラ	12
アルメニア・ワインリー視察ミッション参加者募集／12	
キルギス・ウール協会ビジネスプレゼンテーションのご案内／12	
■ トピックス	12
第2回「中央アジア+日本」経済エネルギー対話を実施／12	
日本板硝子子会社、ウクライナ企業と技術支援契約／12	
五常、タジクの銀行株を追加取得／12	

## 2025年ロシア統一地方選挙 一次期連邦下院選の試金石一

(一社)ROTOBO ロシアNIS経済研究所 主任  
中馬 瑞貴

### はじめに

2025年9月12～14日にかけて、ロシアの81の連邦構成主体(=地域)で統一地方選挙が行われた。今回は21地域で首長の選挙(うち、1地域は間接選挙)、11地域で構成主体議会選挙が行われ、これらを含めてロシア全体で約4,700の投票が行われた。全国で約2,600万人の有権者が投票に参加し、全体の投票率は約47%で前年並みとなった。以下では、今回の統一地方選挙の概要と結果、選挙に対するロシアの政治家、専門家による評価をまとめる。

ロシアでは2026年9月に連邦下院選挙を控える。下院選前最後となる民意の確認ということで、議会内政党を中心に次期選挙の試金石として選挙運動に臨んだ。結果として、政権与党「統一ロシア」の圧勝は誰もが想定した通りであった一方、2位以下は互いに譲らない状況であった。

なお、ロシアによる一方的な2014年のウクライナ領クリミアの併合および2022年のウクライナ4地域併合は国際的に承認されていないが、本稿は主にロシアの情報源に依拠しているため、クリミア共和国、セヴァストポリ市の選挙結果も含まれている(ドネツク人民共和国(ドネツク州)、ルガンスク人民共和国(ルハンスク州)、ザポロジエ州(ザポリヅジャ州)、ヘルソン州では選挙は実施されていない)。しかし、当然のことながら、ロシアによるクリミアや占領地域の併合を是認するものではない。